

課題NO.3

土地利用型法人によるえだまめ生産体系の導入定着



活動期間：令和3年度～令和5年度

対象者：有限会社薬師農産，農事組合法人かすかわ

チーム員：千葉研一郎，早坂裕子，宍戸修

1 課題の背景・ねらい

(背景)

- ・大郷町前川地区では、農地整備事業（370ha）が予定されている。
- ・高収益作物として、えだまめやねぎの導入が検討されている。
- ・対象の2法人は、当地区内の担い手であり、農地整備事業に先駆けて、**初めて、えだまめ栽培に取り組む**ことになった。
- ・えだまめ栽培の導入は、**水稲や大豆の作業との競合が課題**となる。そこで、収穫から出荷調製作業の省力化・分業化や早晩性の異なる品種の組合せによる作期分散に向けた支援が必要となっている。
- ・町、JAでは、えだまめを振興作物として位置づけている。

(ねらい)

- 定性的目標：
- ・基本的な栽培技術が習得できる。
 - ・水稲及び大豆の作業と競合しない作型の導入が検討される。

定量的数値目標：10a当たり可販収量 R3：200kg

2 活動内容

(2) 導入作型の検討



品種検討実証ほの設置



生育調査



収量・品質調査



品種：初だるま（早生）
湯あがり娘（中早生）
ゆかた娘（中生）
播種日：5/20、6/2、6/18

行目 (区画)	作業名 (区画)	作業日時 (区画)	作業人数 (区画)	作業内容 (区画)	作業場所 (区画)	備考
4/25	耕起	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター	10区画	
4/26	肥料散布	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター ブーム散布機	10区画	
4/27	追肥散布	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター	10区画	
4/28	耕起	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター	10区画	
5/19	肥料散布	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター	10区画	
5/19	耕起	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター	10区画	
5/25	追肥散布	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター	10区画	
5/25	耕起	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター	10区画	
5/26	除草剤散布	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター	10区画	
6/1	肥料散布	5/20-16:00 (14時-17時)	2人	トラクター	10区画	

労働時間調査



経営調査（薬師農産のみ）

3 これまでの活動成果

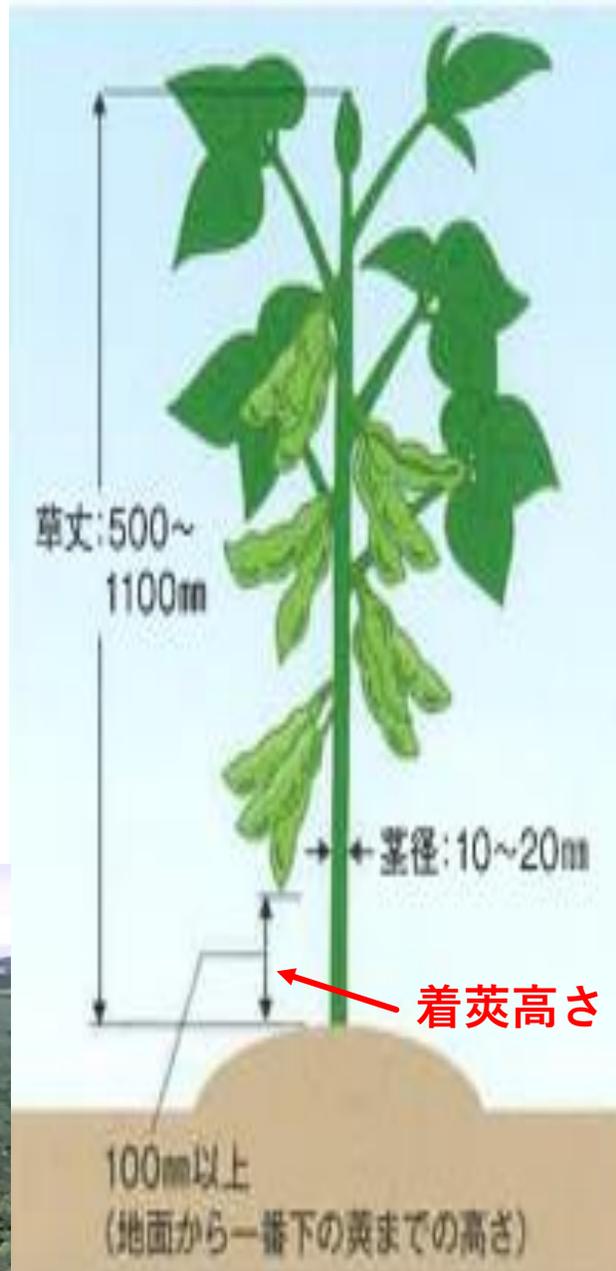
(1) 雑草・病害虫防除等栽培技術支援

- ・ 肥培管理は、土壌診断に基づき適切に行われた。
- ・ 病害虫防除は、適切に実施され、莢の被害はなかった。
- ・ 研修等では、各法人の若手が作業内容の確認や収穫適期の判断を熱心に学んだ。

基本的な栽培技術を習得できた

- ・ 雑草防除は、降雨等により適期作業ができなかった。
- ・ 収穫は、着莢位置が低く機械収穫によるロスが生じた。

課題：雑草防除対策
着莢位置の高い品種選定



3 これまでの活動成果

(1) 雑草・病虫害防除等栽培技術支援

栽培実績 (数値目標：10a当たり可販収量 200kg)

法人名	栽培面積	10a当たり可販収量	栽培品種
農事組合法人かすかわ	60a	178kg	湯あがり娘 (中早生)
有限会社薬師農産	1ha	288kg	ゆかた娘 (中生)
平均		233kg	

更なる収量向上のためには、**排水対策が重要**であることが再認識された。

排水不良による生育量の不足や降雨等により雑草の適期防除ができなかった。



畦間に滞水



生育不良 (手前)



雑草繁茂 (手前)

3 これまでの活動成果

(2) 導入作型の検討

- ▶ 品種検討実証ほ
早晩性の異なる3品種
5/20、6/2、6/18播種 → 収穫時期
8/上～9/上 →
 - ・5/中～6/中の播種は、**水稻及び大豆と作業競合しない**
 - ・**「ゆかた娘」の収量が高め**

▶ 労働時間調査

※全農みやぎは、令和3年度県単の園芸作物サプライチェーン推進事業に取り組んでいる。

生産者：生産～収穫 ⇒ J A：洗淨・出荷 ⇒ 全農みやぎ園芸部：選別・袋詰め・販売

雑草防除の時間が最多

(降雨により圃場に入れず、適期作業が困難)

→ **排水対策の検討が必要**

▶ 経営調査 (試算)

資材など仮算出中…

→ **収量の大幅な向上が必要**

4 令和4年度の活動について

(1) 排水対策・雑草防除等栽培技術支援

- ・ 排水対策の実証（農業・園芸総合研究所と連携）
- ・ 雑草防除体系の検討
- ・ 先進地視察研修・相互巡回検討会の実施
- ・ 栽培暦の改訂

(2) 出荷体系の検討

- ・ 出荷状況の調査
- ・ 機械収穫に適する品種の検討（農業・園芸総合研究所と連携）
- ・ 労働時間及び経営調査の継続